

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	長野県・木曾広域連合	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	木曾路周辺地域文化遺産総合活用推進事業		【計画の改善時期】 平成35年度
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 35 年度 5年以内としてください。		
5 実施計画の概要			
<p>第5次木曾広域連合広域計画（2018(平成30)年度～2022年度）を踏まえ、地域の人々が守り継いできた地域祭礼を活かして木曾路周辺の魅力を世界の人々に感じて頂き、観光交流人口を増やして地域を再生し、末永く地域文化を育むことを目指し、下記の取組みを実施する。また、下記の取組みを通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>木曾路は中山道宿場町の贅川宿（にえがわしゅく）から馬籠宿（まごめしゅく）までの11宿場をいい、日本国内の街道筋で唯一江戸時代の面影を残す自然環境が広がる。また、その木曾路周辺部も有形・無形の文化遺産にも恵まれており、この一帯は日本国が世界に誇るべき文化資源といえる。そこで、当地域を管轄する長野県木曾広域連合により、木曾路周辺地域の文化遺産活用による地域活性化事業を計画するものである。</p> <p>なお、2005年の越県合併により旧木曾郡山口村の馬籠宿は岐阜県中津川市に編入され、旧木曾郡樽川村は長野県塩尻市に編入し当広域連合の管轄地域から外れている。しかし、木曾広域連合の「第5次木曾広域連合広域計画」では、広域的な観光振興に関することとして、旧山口村、旧樽川村を含む「木曾路」という地縁を活かした結びつきの継続を上げており、その施策として当該エリアを包括する木曾観光連盟への協力もあげられている。そこで、事業実施団体を木曾観光連盟（塩尻市、中津川市ともに構成団体に参加している）とすることで、古くから現代まで続く文化的つながりに基づく事業を最新の県境で分断する事なく実施する。</p> <p>■2019年度(平成31年度) 文化遺産総合活用推進事業（地域文化財総合活用推進事業）に着手。木曾路周辺地区の体制づくりを支援する。 実施事業：人材育成事業 → セミナー開催など。</p> <p>■2020年度(平成32年度) 前年度事業について効果検証を行い、次の事業を促進する。 実施事業：人材育成事業 → 祭礼案内ガイド育成など。</p> <p>■2021年度(平成33年度) 前年度事業について効果検証を行い、次の事業を促進する。 実施事業：人材育成事業 → 祭礼案内ガイド育成など。</p> <p>■2022年度(平成34年度) 前年度事業について効果検証を行い、次の事業を促進する。 実施事業：人材育成事業 → 祭礼案内ガイド育成など。</p> <p>■2023年度(平成35年度) 前年度事業について効果検証を行い、次の事業を促進する。 実施事業：人材育成事業 → 祭礼案内ガイド育成など。 また、過去5年間事業の総括評価および 2027年度リニア中央新幹線開業に向け、地域における一層の文化観光促進計画作りを、官民一体で検討していく。</p> <p>なお、上記期間内において住民の自発的な文化遺産活用・保存に関する提案があり、それが効果的であると考えられる場合、必要に応じて上記計画を修正し、対応する。</p> <p>※第5次木曾広域連合広域計画(広域的な観光振興に関すること)は URL(http://www.kisoji.com/data/open/cnt/3/15495/1/5th_part17.pdf)</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>木曾文化公園（木曾広域連合施設）：各補助事業における文化財の取り扱いに関する指導・調整等。 また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>木曾観光連盟（会長：向井裕明） 構成団体（木曾町、上松町、南木曾町、木祖村、王滝村、大桑村、塩尻市、中津川市、（一社）木曾おんたけ観光局、（一社）上松町観光協会、南木曾町観光協会、（一社）木祖村観光協会、大桑村観光協会、（一社）塩尻市観光協会、長野県商工会連合会木曾支部、木曾地区温泉協会、おんたけ交通株式会社、木曾駒高原観光開発株式会社、おんたけタクシー株式会社、木曾農業協同組合、日野製菓株式会社、（公財）名古屋市民休暇村管理公社、（一財）塩尻・木曾地域地場産業振興センター、大江戸温泉物語(株)ホテル木曾路、アスモグループ株式会社、株式会社 御嶽リゾート、奥木曾グリーンリゾート株式会社、株式会社社岳リゾート、飛騨森林都市企画株式会社、木曾路道の駅連絡会、長野県製菓株式会社、株式会社霧しな）※平成31年3月31日現在</p> <p>補助事業実施期間終了後は、引き続き木曾観光連盟が、総合的な観光情報発信と連携しながら祭礼の情報発信、誘客促進を進めて行く。</p> <p>各年度の事業終了後は、木曾観光連盟の構成市町村により目標値と期待される効果に関する評価を行う。また、評価結果については木曾観光連盟事業計画とともに、木曾路周辺地域文化遺産総合活用推進事業として評価指標の達成状況を踏まえた、次年度の祭礼を活かした情報発信事業内容を反映することとする。</p>			

7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 0 千円	平成31年度申請額： 3,340 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>1) 広域地域関係者自らの発案・企画による郷土への文化・風土の積極活用の取組みによって、地域住民による文化遺産への関心や保護意識が地域全体で向上し、これらの保存や継承といった取組みの活発化が期待できる。</p> <p>2) 近年増大しつつある長期滞在型欧米人旅行者に対し、取上げようとするテーマ（日本文化としての地域祭礼）と、木曾路周辺の観光ニーズがマッチしており、観光交流人口増加における相乗効果を期待できる。</p> <p>3) 第5次木曾広域連合広域計画「広域的な観光振興に関すること」で施策に掲げている施策1-(1) 情報受信拡充プロジェクトおよび施策2への寄与が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	埋蔵文化財調査事業として構成町村から委託を受け、各町村の公共事業に伴う試掘調査、民間事業者による開発工事に起因する確認調査や工事立会いへの対応		
事業概要：	日本遺産「木曾路はすべて山の中～山を守り山に生きる～」のテーマのもとに、構成文化財を中心としたストーリーを活用して、木曾エリアへの誘客促進を図っている		
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
歴史文化基本構想および歴史的風致維持向上計画については、市町村において取組み状況は異なる。当広域連合としては「木曾路の眺望景観整備推進会議」に会員として参加し、日本遺産その他周辺環境を含めた景観整備に取り組む。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	木曾広域連合 木曾文化公園		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	木曾エリア観光入込客数			関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 2,180 千人 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 2,406 千人					
設定根拠 1 :	H28～29年度の年間伸び率△1.4%を参考とし、毎年度平成29年度比、2%を加算した伸び率の達成を設定					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
千人	千人	千人	千人	千人	千人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	木曾路文化遺産観光人材育成事業			実施団体：	木曾観光連盟	
事業区分：	人材育成			事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 35 年度	
事業概要：	『木曾路祭礼ソムリエ』（仮）と名付けた木曾路周辺地域の多彩な祭礼やその他文化遺産を魅力的に紹介出来るボランティアガイドを育成する。ソムリエは祭礼等の際に旅行客を案内して、現場で内容を紹介したり、旅行客の祭り参加を手伝うなどして満足向上を担うほか、地域関係者と連携してのワークショップに参加し、地域活性イベント開発に寄与する。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	『木曾路祭礼ソムリエ』（仮）年間利用者数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 1,000 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
人	人	人	人	人	人	